

# 島根県消防学校だより vol.5

## 初任教育第53期（後期）『卒業式』

確かな春の息吹を感じる3月20日（木）、初任教育第53期（後期）7名の卒業式を挙行いたしました。式に先立ち「慰霊碑」に全員で黙祷し、9時半から「卒業展示」（訓練礼式～救助訓練～消防演習）を開始。



### ～卒業展示～

「わずか7人の卒業式」ということで、ただでさえ寂しい卒業式の予定でしたが、まさかのインフルエンザ猛威で「たった5人の卒業式」になってしまいました。5人が一行で行う訓練礼式。一人ひとりの一挙手一投足が見学者の視界の中にあり、小さなミスも絶対に許されません。まっすぐ伸びた指先の緊張感と、心臓の鼓動が見ているこちらに痛いほど伝わってきました。救助訓練は、「渡る～フォール・復旧～登る～降りる」を入れ替わり立ち代りで、5人がフル出場でこなさなければなりません。もちろん休憩すること無くです。結果は、急な予定変更と厳しいタイムスケジュールにもかかわらず、見事な流れで繰り広げ「アップレ！」でした。最後の消防演習は、「2名の逃げ遅れがあるビル火災」の想定で活動を展示しました。慌てるな！きちんと呼吸器装着しろよ！ちゃんと水だせ！要救を落とすな！三連うまく伸ばせ！など、教官の悲痛な心の叫びをよそに、見事なほどうまく決めてくれました。黒子で協力して頂きました松江市南消防署の皆さん、ありがとうございました。少人数に加え、松江消防の所属職員だけのため、関係者はけっして多くはありませんでしたが、初任科生らしい元気な声とキビキビした行動に、力強い声援と大きな拍手を頂き、屋外での卒業展示を終えました。



### ～屋内式典～

講堂で行われた式典では、渡部校長が一人ひとりに卒業証書を手渡し「外には謙虚な気持ちを持ち、内には自信と誇りを持って」「信頼されるプロの消防人になれ」の二点について訓辞があり、卒業生を代表して総代 勝部翔太消防士が「常に向上心を持ち続け、誰からも信頼される消防官になるよう努力します」と謝辞を述べました。来賓の島根県知事（代理、山口消防総務課長）と石飛島根県消防長会長（松江市消防長）から、お祝いのお言葉を頂き厳粛に式典を終えました。

### 警防科第24期

3月5日から19日までの間「警防科第24期」18名の専科教育を実施しました。初任科以来の入校といった、浦島太郎的な学生が多いこともありましたが、おさらいも含め、警防活動の基本的な部分の意味合いをしっかりと押さえて頂くことに主眼を置き、2週間みっちり学習・訓練していただきました。

この課程を最後に、今年度の現任職員教育の全課程を無事に修了いたしました。



## 消防団員教育

今年度の消防団員教育（基礎、初級幹部、中級幹部、指導員研修）を1月末から2月にかけて実施しました。土日を使っただけの研修に加え、早朝から遠くは吉賀町から来られた方もおられました。お疲れ様でした。団員の皆様は、普段の仕事をもちながらの消防活動や研修・訓練など、本当に頭が下がります。地域を守る防災活動、これからも体に気を付け、地元のためによりしくお願いします。



基礎教育 19名



初級幹部教育 21名



中級幹部教育 29名



指導員研修10名

## 中級幹部科 第27期



2月12日（水）から21日（金）までの間、「中級幹部科第27期」15名の幹部教育を実施しました。中級幹部科教育では、組織の中核を成す幹部職員に求められている「部下指導」や「人材育成」に係ることについて、消防大学の戸谷教授の「現場指揮と部下指導」や、自治研修所の藤井講師の「公務員倫理と人事管理」などの講義を頂きました。また、実際の災害現場で、適確な指揮がとれるよう、初任科生を交えての現場指揮訓練なども行い、幹部としての指揮能力を高めました。

## 新CD-I車両を導入しました

水700リットルを積載したCD-I型消防ポンプ自動車で、両サイド（2×2）と後方の5面がシャッターになっています。ベース車両は日野自動車製、2WD、オートマチック車で、ぎ装は（株）吉谷機械製作所です。学校教材としての特色は、①ポンプ配管の見える化 ②クリア（透明）吸水管を装備 ③常設トランシーバーシステム ④加納型ホースカー2台（電動アシスト式と手動式）を装備 ⑤車両後部に操法訓練用台を装備 などです。



## お知らせ

校舎の補修工事を行っていましたが、3月中旬で無事に完了しました。今回は、管理棟、寮棟、屋内訓練場の外壁補修がメインでしたが、寮棟の内装と畳替えも併せて行うことができ、素敵にリニューアルしました。新築そっくりさんに化粧直ししましたので、近くにお越しの際は是非ともお立ち寄りください。

## お世話になりました

安来市消防本部から派遣されている近藤教官が、今年度で退任されます。厳しさと優しさを絶妙なバランスで使い分ける指導センスで、多くの消防職団員を教育していただきました。大変お世話になりました。来年度は、隠岐広域連合消防本部から渡邊秀幸消防士長が、教官派遣されます。

## 編集後記（事務局より）

1年間、裏方の総務担当として消防学校の教育現場をつぶさに見てきました。現代の豊かな社会は、消防の皆さんに支えられているという事実を改めて実感いたしました。あたり前の日常や普通の生活は、けっして容易いことではなく、いろいろな人たちの協力と努力があってこそ成り立っているのだと思います。

3年前の東日本大震災で発生した原子力災害が、今だに収束されず、多くの方々が不自由な避難生活を余儀なくされています。『最善を望め、そして最悪に備えろ』と言われるそうですが、真の《核の火消し役》として、備えるべきこととは何なのでしょう。素人の私には難しい問題です。

島根県消防学校

〒690-0046 島根県松江市乃木福富町735-157

E-mail: syobogako@pref.shimane.lg.jp

Tel: 0852-22-0166